

## 平成30年度事業計画

社会福祉法人 恵 和 会  
特別養護老人ホーム さざんか園  
デイサービスセンターさざんか園  
在宅介護支援センターさざんか園  
銚子市西部地域包括支援センター  
さざんか園福祉教育センター

### 1. 特別養護老人ホームさざんか園 全体運営方針

当施設の事業計画として、銚子市における「地域包括ケアシステム」の構築ということ掲げさせていただいてから数年経ちますが、実際のところはどう進捗しているのでしょうか。千葉県においては、向こう3年間を見据えた「千葉県高齢者保健福祉計画」が、銚子市においては同じく「銚子市介護保険事業計画」が作成され、今年度からスタートします。どちらの計画においても目標としては、介護事業量の充足が掲げられています。しかし銚子市の現状は、訪問介護事業所や通所介護事業所の撤退や人材不足からの短期入所介護事業所の縮小といった情報ばかりが目につきます。当施設においても人材不足から一時的な短期入所事業の縮小を余儀なくされています。介護人材不足は、事業の継続すら危ぶまれる状態にまできています。

介護人材不足を少しでも解消していくために、今年度から新しい事業として「さざんか園福祉教育センター」を立ち上げます。高校生、現任の介護職員、潜在的な有資格者、退職後の高齢者等幅広い方々を対象に、介護福祉士実務者研修や初級編介護研修等を実施し、当地域における介護人材を幅広く育成していきます。銚子市における人口動態を見たとき本当に厳しい現状ではありますが、当施設として何か実践していかなければいけないという思いで立ち上げます。

一方今年度8月にEPA（経済連携協定）に基づく外国人介護職員（ベトナム人）の雇用が決まっています。この方達を足がかりとして外国人介護職員の導入を考えていきます。外国人の雇用については、国として技能実習制度や留学生等積極的に制度が押し進められています。施設としての受入体制等十分考慮し、一定割合の雇用を考えていきます。

また、施設は創設30年を迎えます。いろいろな箇所に不具合が見受けられますので、これを機会に大規模に修繕等を行っていきます。さらに業務の効率化を図る観点から省略できることについては、できるかぎりIT化していきます。職員の資質向上についても、「福祉教育センター」と連携し、歴史ある施設の職員として誇りが持てるよう、初心に戻り介護知識・技術の見直し向上を図る為、勉強会を全職員で実施していきます。

こうした事業を推し進めるにあたって、当施設の存在が銚子市における高齢者福祉にとって、本当に価値あるものとして機能していけるよう、職員一丸となって、この30年目の年を頑張っていきます。